

第8回高齢社会検定試験における新型コロナウイルス感染症対応について

第8回高齢社会検定試験への受験をご検討いただき、誠にありがとうございます。

一般社団法人高齢社会共創センターでは、試験実施にあたりまして以下の感染予防策を実施し、受験者の皆様および試験官の安全性確保に努めて参ります。ただし今後の新型コロナウイルス感染拡大により、国や自治体からの自粛要請を受けた場合や試験会場の確保が困難になった場合には、開催中止とする場合もございます。最新の情報は高齢社会共創センターHPにてご案内いたしますので、随時ご確認くださいようお願い申し上げます。※開催中止の場合、お申込みいただいた受験料は返金いたします。詳細はHPおよびメールにてご案内いたします。

【試験会場における感染予防策】

- 試験官は試験当日、検温を行い体調に問題ないことを確認します。
- 試験官はマスクを着用し、こまめな手洗い・手指のアルコール消毒を行います。
- 試験会場内にアルコール消毒液を設置いたします。
- 人の手が触れる箇所を中心に会場施設のアルコール消毒を行います。
- 会場内では他者と十分な距離が保たれるよう誘導、注意喚起を行います。
- 試験教室内は通常のテストより収容数を減らし、受験者間の距離を保ちます。
- 会場内の窓開け、ドア開放、換気扇作動などにより換気を行います。
- 口頭での説明案内、会話を最小限にとどめます。

【受験者の皆様へのお願い】

- ご来場前にご自身で検温をおこなっていただき、発熱がある場合は受験をお控えください。また場合によっては受験をお断りさせて頂く場合もございます。
- 試験会場内では必ずマスクをご着用ください。
- 手洗い、手指のアルコール消毒、咳エチケットを励行してください。
- 周りの受験者の方と適度な距離をお取りください。
- 会話は最小限としてください。

受験者（ご検討いただいている方）の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上